

イトーヨーカドーのサステナビリティアクション

認知症サポーター養成講座の推進と

認知症当事者のお声を反映した商品開発

実施店舗：
株式会社イトーヨーカ堂

9月は「世界アルツハイマー月間」です。

イトーヨーカ堂では、認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けていけるよう、店舗と本部従業員への「認知症サポーター養成講座」の推進を進めており、店舗でお困りの方の手助けができるように接客対応などを学んでいます。25年7月23日時点で、累計19,677人が受講済みとなりました。

また、イトーヨーカ堂は経済産業省の「オレンジノベーション・プロジェクト」に賛同し、2024年より本プロジェクトの実践企業に採択されたことから、認知症当事者の方々のご要望や日々感じているお悩みをヒアリングしながら商品開発を進めており、25年8月下旬から、認知症当事者の方々のお声を参考に開発したパジャマとルームシューズをイトーヨーカドー56店舗のあんしんサポートショップにて販売開始することができました。

商品開発担当者からは、『当事者の方の「あったらいいな」をカタチにしていく事が面白くもあり、苦労した点でした。まだまだ具現化できていない部分もあるので、更に多くの方のお悩みを商品を通じて解決していけるようこの取り組みを継続していきます。』とコメントをいただきました。

イトーヨーカドーは今後も、共生社会の実現と地域の皆様に愛される店舗を目指し、お客様一人ひとりのライフスタイルに寄り添った商品とサービスの提供に取り組んでまいります。



認知症当事者の方と意見交換

オレンジノベーション・プロジェクトとは

認知症になってからも自分らしく暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症の方が主体的に企業や社会等と関わり、認知症当事者の真のニーズをとらえた製品・サービスの開発を行う「当事者参画型開発」の普及と、その持続的な仕組みの実現に向けた取り組みを推進するプロジェクトのこと



関連情報：「認知症当事者のお声を反映した商品を開発 | リリース」

<https://www.itoyokado.co.jp/resources/222ae94f-9728-4026-b206-188613186922.pdf>